

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成29年10月5日 (2017.10.5)

【公開番号】特開2016-65419(P2016-65419A)

【公開日】平成28年4月28日 (2016.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-026

【出願番号】特願2014-195930(P2014-195930)

【国際特許分類】

E 0 3 D 9/00 (2006.01)

E 0 3 D 11/02 (2006.01)

G 0 1 F 23/14 (2006.01)

【F I】

E 0 3 D 9/00 Z

E 0 3 D 11/02 Z

G 0 1 F 23/14

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月28日 (2017.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

排泄物の情報を測定する排泄情報測定装置であって、

水が溜められた溜水部が形成されており、この溜水部に排泄物を受け入れるボウル部と

、

前記溜水部の水位を計測する水位計測部と、

前記ボウル部が受け入れた排泄物の内容及び量を判断するための情報を格納する格納部

と、

前記水位計測部が計測した実測水位データと前記格納部に格納された情報とに基づいて

、前記ボウル部が受け入れた排泄物の内容及び量を算出する制御部と、を備え、

前記格納部には、前記ボウル部が排尿を受け入れた場合の前記溜水部の水位を示す排尿推定データと、前記ボウル部が排便を受け入れた場合の前記溜水部の水位を示す排便推定データと、が格納されており、

前記制御部は、

前記実測水位データと前記排尿推定データとの差分を算出すると共に、前記実測水位データと前記排便推定データとの差分を算出し、差分の絶対値が小さい推定データが示す排泄行為がなされたものと判断することを特徴とする排泄情報測定装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記課題を解決するために、本発明に係る排泄情報測定装置は、排泄物の情報を測定する排泄情報測定装置であって、水が溜められた溜水部が形成されており、この溜水部に排泄物を受け入れるボウル部と、前記溜水部の水位を計測する水位計測部と、前記ボウル部が受け入れた排泄物の内容及び量を判断するための情報を格納する格納部と、前記水位計

測部が計測した実測水位データと前記格納部に格納された情報とに基づいて、前記ボウル部が受け入れた排泄物の内容及び量を算出する制御部と、を備える。前記格納部には、前記ボウル部が排尿を受け入れた場合の前記溜水部の水位を示す排尿推定データと、前記ボウル部が排便を受け入れた場合の前記溜水部の水位を示す排便推定データと、が格納されている。前記制御部は、前記実測水位データと前記排尿推定データとの差分を算出すると共に、前記実測水位データと前記排便推定データとの差分を算出し、差分の絶対値が小さい推定データが示す排泄行為がなされたものと判断する。